

真空式温水発生機 データシート 1 【品質性能概要】 <評価基準>

項 目		単位等	評 価 基 準	事由
1 適用範囲				
	分 類		鋼製か鋳鉄製か	評
	燃 料		油焚きかガス焚きか油・ガス切替専焼か	評
			油焚きの時は灯油かA重油(1種1号)か	評
	申 請 形 式		申請機種との整合	評
	用途		暖房、給湯、暖房＋給湯(併用)	評
	回 路 数		可能な回路数の確認	評
	定 格 出 力	kW		評
	飲 用 適 否		適合する場合浸出性能試験合格書があるか H.9厚生省令第14号 H.26厚生労働省令第15号 JIS S 3200-7(水道用器具－浸水性能試験方法)	仕
2.性能				
2.1性能試験データ			データシート(2)に記入, 試験成績書を提出	JIS HA
2.2 漏れ・気密試験			データシート(2)に記入, 試験成績書を提出	JIS HA
2.3 振動及び騒音			データシート(2)に記入, 試験成績書を提出	JIS HA
3.構造				
3・1 構造図			申請機種との整合	評
3・2 構造・材料等				
(1)構成部品の材料等(鋼製の場合)				
	缶体・燃焼室の材料		鋼板又はステンレス鋼板	仕
	缶体・燃焼室の材料の厚さ	mm	2.0mm以上	JIS・HA
	煙管の材料		JIS G3452(配管用炭素鋼鋼管)、G3461(ボイラ・熱交換器用炭素鋼鋼管)	仕
	煙管の材料の厚さ	mm	2.0mm以上	
	熱交換器の管の材料		JIS G3463(ボイラ・熱交換器用ステンレス鋼鋼管)、H3300(銅及び銅合金の継目無管)	仕
	熱交換器材料の厚さ	mm		評
	ケーシング材料		JIS G3101(一般構造用圧延鋼材)、G3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)、G3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)、G3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、G3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、G3313(電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	JIS・HA
	ケーシング材料の厚さ	mm		評
	水管材料(有する場合)		JIS G3452(配管用炭素鋼鋼管)、G3454(圧力配管用炭素鋼鋼管)、G3459(配管用ステンレス鋼鋼管)、G3461(ボイラ・熱交換器用炭素鋼鋼管)、耐硫酸腐食鋼	仕
	水管材料の厚さ(有する場合)	mm		評
(2)構成部品の材料等(鋳鉄製の場合)				
	缶体・燃焼室の材料		JIS G5501(ねずみ鋳鉄品)、G5502(球状黒鉛鋳鉄品)	仕
	缶体・燃焼室の材料の厚さ	mm	5.0mm以上	JIS・HA
	缶体・燃焼室が全面水冷壁形構造か		全面水冷壁形構造	仕
	熱交換器の管の材料		JIS G3463(ボイラ・熱交換器用ステンレス鋼鋼管)、H3300(銅及び銅合金の継目無管)	仕
	熱交換器材料の厚さ	mm		評
	ケーシング材料		JIS G3101(一般構造用圧延鋼材)、G3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)、G3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)、G3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、G3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、G3313(電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	JIS・HA
	ケーシング材料の厚さ	mm		評
(3)ミルシートの提出			提出され、適合している。	評

項 目	単位等	評 価 基 準	事由
3・3構成			
水位制御装置		電磁弁方式(鋳鉄製の場合)	仕
溶解栓		溶解温度100℃未満、封印有り	仕
		吹き出し蒸気が人体に危害を与えるおそれのない構造	仕
自動抽気装置		自動抽気可能で所定の真空状態を保持できること。	仕
容量調整装置		加熱源絞り制御	仕
		熱媒水温度制御又は温水出口温度制御	仕
3・4安全装置			
熱媒水温度の過度の上昇により作動する温度ヒューズ(封印を施したもの)		設置(有)	仕
缶体内の圧力の過度上昇により作動する圧力スイッチ		設置(有)	仕
空たき防止用温度ヒューズ(鋼製真空式)		設置(有)	仕
熱媒水の過度の減少により作動する低水位燃焼遮断装置(鋳鉄製真空式)		設置(有)	仕
4 燃焼装置			
4・1オイルバーナー			
(1)オイルバーナー形式			
バーナーの形式		仕様が記入されている	仕
適合規格		HA-026(ガンタイプ油バーナー),HA-028(回転式油バーナー)による。	仕 HA
(2)燃焼方式			
燃焼制御方式		全自動式	仕
容量制御方式		オン・オフ制御、ハイ・ロー制御、比例制御	仕
(3)構成品の仕様			
送風機		仕様が記入されている	仕
オイルポンプ		仕様が記入されている(ガンタイプの場合はHA-29(ガンタイプ油バーナー歯車ポンプ)に適合)	仕
電動機規格		製造者の標準仕様とする。	仕
電動機保護方式		仕様が記入されている	仕
電源	V	仕様が記入されている	仕
(4)自動制御・安全装置等			
(イ)自動油量制御装置(オン・オフ制御は不要)		設置(有)	仕
(ロ)自動燃焼空気量制御装置(オン・オフ制御は不要)		設置(有)	仕
(ハ)自動着火装置		設置(有)	仕
(ニ)燃焼安全制御装置(着火・停止・燃焼)		設置(有)	仕
(ホ)圧力又は温度調節装置(調節器付)		設置(有)	仕
(ヘ)低水位燃焼遮断装置		設置(有)(鋳鉄製の場合)	仕
(ト)対震自動消火装置		設置(有)	仕
(チ)地震感知器		電気式又は機械式	仕
		振動の周期0.3秒、0.5秒、0.7秒のそれぞれにおいて、振動の加速度が 100cm/s^2 以下の場合に作動せず、 170cm/s^2 以上の場合に作動する。	仕
		作動試験装置及び作動表示、水平垂直の調節機構及び水準器を備えたもの。	仕
(リ)制御盤		設置(有)	仕
(ヌ)油加熱器(A重油・灯油焚きは除く)		設置(有)	仕
(ル)フレキシブルジョイント		設置(有)	仕
		鋼製フランジ付	仕
		SUS304、316、316L	仕
		20mm以下・・・300mmL以上	仕
		25～40mm・・・500mmL以上	仕
(ヲ)圧力計		設置(有)	仕

項 目	単位等	評 価 基 準	事由
4・2 ガスバーナー			
(1)ガスバーナー形式			
バーナーの形式		仕様が記入されている	仕
適合規格		HA-032(強制通気式ガスバーナー)による。	仕
(2)燃焼方式			
燃焼制御方式		全自動式	仕
容量制御方式		オン・オフ制御、ハイ・ロー制御、比例制御	仕
(3)自動制御・安全装置			
(イ)自動ガス量制御装置(オン・オフ制御は不要)		設置(有)	仕
(ロ)自動燃焼空気量制御装置(オン・オフ制御は不要)		設置(有)	仕
(ハ)自動着火装置		設置(有)	仕
(ニ)燃焼安全制御装置(着火・停止・燃焼)		設置(有)	仕
(ホ)圧力又は温度調節装置(調節器付)		設置(有)	仕
(ヘ)低水位燃焼遮断装置		設置(有)(鋳鉄製の場合)	仕
(ト)対震自動消火装置		設置(有)	仕
(チ)地震感知器		電気式又は機械式	仕
		振動の周期0.3秒、0.5秒、0.7秒のそれぞれにおいて、振動の加速度が 100cm/s^2 以下の場合に作動せず、 170cm/s^2 以上の場合に作動する。	仕
		作動試験装置及び作動表示、水平垂直の調節機構及び水準器を備えたもの。	仕
(リ)制御盤		設置(有)	仕
4・3 機器附属盤		定格出力が186kw以下のものは、製造者の標準仕様とする。	
電気用品安全法に対する認証		自己認証か、第三者認証	仕
(1)表示及びブザー等			
・表示の光源		原則としてLED	仕
・電源表示(白)		電源表示(白)必要(各社の表示色で可)	仕
・運転(赤)・停止(緑)表示		運転表示(赤)・停止表示(緑)必要	仕
・燃焼表示		燃焼表示必要	仕
・不着火表示の有無を記入		不着火表示必要	仕
・保護継電器の動作表示		保護継電器の動作表示は一括又は個別、及び一括の場合は理由を記入	仕
・ガス圧異常表示(ガスだきの場合)		ガス圧異常表示(ガスだきの場合)必要	仕
・異常表示		異常表示必要	仕
・運転時間積算表示		バーナーの実運転時間(単位h)を表示又は印刷できるもの必要 整数位5桁以上 必要	仕
・異常警報ブザー		異常警報ブザー必要	仕
(2)入力端子及び出力端子			
・インターロック用入力端子		インターロック用入力端子必要	仕
・運転状態表示用出力端子		運転状態表示用出力端子必要	仕
・故障状態表示用出力端子		故障状態表示用出力端子必要	仕
(3)過負荷及び欠相保護装置			
①過負荷保護装置		電動機毎の保護装置必要	仕
②欠相保護装置		電動機毎の保護装置必要	仕
③上記保護装置を設けていない場合		保護装置が無しの場合理由を記入	仕
		・0.2kw以下の電動機回路	仕
		・過電流遮断器の定格電流が、15A以下の単相電動機	仕
		・配線用遮断器の定格電流が、20A以下の単相電動機回路	仕
		・1ユニットの装置で電動機自体に有効な焼損防止装置があるので、欠相保護装置を設けていない	仕

項 目		単位等	評 価 基 準	事由
(4)	インバータ制御装置(可変電圧可変周波数制御装置)		特記対応	仕
	1)インバータ制御装置を設ける場合は、次に			仕
	①過電流、欠相、過電圧等が発生した場合の電動機停止する保護機能	具備		仕
	②短絡により作動する保護制御機能	具備		仕
	③ストール防止機能	具備		仕
	④継電器等のコイル部のサージ対策	サージキラー等を具備		仕
	⑤制御方式	正弦波パルス幅変調方式又はパルス振幅変調方式		仕
	⑥瞬時の電圧低下対策	自動回復運転機能を具備		仕
	⑦負荷特性に合わせた加減速時間の調整	製造者にて適切に調整したもの		仕
	2)高調波対策(特記による)		特記対応とし、特記が無ければ下記(a)から(d)のいずれかによる	仕
	①高調波対策		(a)高調波対策として直流リアクトル等により、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」及び「高調波抑制対策技術指針(一社)日本電気協会」による換算係数 $K_i=1.8$ 以下(交流側リアクトルで $K_i=1.8$ となる対策を除く)となる対策	仕
			(b)JIS C 61000-3-2「電磁両立性 - 第3-2 部: 限度値 - 高調波電流発生限度値(1相当りの入力電流が20A 以下の機器)」が適用された機器	仕
			(c)基本波力率が1 であるときの入力力率が0.94 以上のインバータ制御装置	仕
			(d)基本波力率が1 であるときの入力力率が0.94 以上となるように、直流リアクトル等と組み合わせたインバータ制御装置	仕
	②高周波ノイズ対策用		入力側に零相リアクトル等を設ける。ただし、インバータ制御装置本体に零相リアクトル等が内蔵されているものは除く。	仕
(5)	単線接続図		具備の事	仕
(6)	構 造			
	充電部の構造		制御盤はドアを閉じた状態で充電部が露出していない	仕
	感電防止措置		ドア裏面の押しボタン等感電の恐れのある構造のものは、感電防止の処置を施している	仕
5	附属品			
	(イ) 熱媒水温度計		設置(有)	仕
	(ロ) 煙道ダンパー		設置(有)	仕
	(ハ) 連成計又は真空計		設置(有)	仕
	(ニ) 銘板		設置(有)	仕
6	保温		(製造者標準仕様)	
	保温する部位		部位が記入	評
	保温材		材料・規格(JISA9504)が記入してある	JIS・HA
	保温材厚さ	mm	厚さが記入してある	評
	保温のホルムアルデヒド放散等級(F☆マーク)の確認		ホルムアルデヒド放散等級(F☆マーク)が記入してある	評
7	塗装		(製造者標準仕様)	
	下塗りの材料・回数		材料・回数が記入	評
	仕上りの材料・回数		材料・回数が記入	評
8	配管接続			
	接続規格がJISに			評
	適用JIS規格の適合			評
	JISによらない場合の接続方法		接続方法が記入	評

項 目		単位等	評 価 基 準	事由
9 銘板			各項目の記入の可否を回答	
1.	製造者名			承
2.	形式品番			承
3.	製造年月又は製造年			承
4.	製造番号			承
5.	定格出力	kW		承
6.	最高使用圧力	MPa		承
7.	伝熱面積	m ²		承
8.	使用燃料			承
9.	燃料消費量	L/h m ³ N/h kg/h		承
10.	供給ガス圧	kPa		承
11.	電源(φ)	V・Hz		承
	銘板のコピーの提出の有無			承
10 提出書類の確認(納入時)				
	承諾図		提出できること	承
	完成図		提出できること	承
	取扱説明書		提出できること	承
	試験成績書		提出できること	承
	基礎ボルト計算書		提出できること	承・設

評価基準の事由

仕：標準仕様書又は改修標準仕様書の規定による

設：設計基準の掲載事項による

承：機材承諾図様式集の掲載事項による

評：評価事業による確認事項

JIS：日本産業規格の規定による

HA：日本暖房機器工業会規格の規定による